

三菱自動車、新型『アウトランダー』の PHEV モデルを今冬に発売 ～新世代 PHEV システムを搭載し、全方位で進化～

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼最高経営責任者：加藤 隆雄、以下三菱自動車）は、本年 4 月より北米で発売した新型クロスオーバー SUV『アウトランダー』にプラグインハイブリッド EV（PHEV）モデルを新たに設定し、今冬に国内で発売予定です。



新型『アウトランダー』の PHEV モデルは、新世代化した PHEV システムを搭載。モーター出力の向上とバッテリー容量の拡大により、いっそう力強い走りと航続距離の延長を実現します。また、プラットフォームの一新とコンポーネントの一体化、そしてレイアウトの最適化により 3 列 7 人乗りを実現し、SUV としての居住性と利便性を高めています。



三菱自動車は 1964 年からの電動車の研究開発の成果として、「日常では EV、遠出はハイブリッド」というコンセプトのもと、電動車ならではの力強く滑らかで静かな走り、様々な天候や路面でのドライブを安心・安全に楽しめる『アウトランダー PHEV』を 2013 年に発売。以降、世界 60 カ国以上で販売し、PHEV カテゴリーをリードしてきました。

PHEVは環境負荷と充電設備などのインフラ依存が低く、ツインモーター4WD方式のPHEVシステムは三菱自動車らしい安心・安全で快適な走りを実現。三菱自動車は「環境ターゲット2030」において、このPHEVを中心とした電動車により、2030年までに新車のCO₂排出量を40%削減するという目標を掲げ、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

なお、三菱自動車の環境への想いを込めた動画を以下の三菱自動車サイトに掲載しています。

「自然と併走して、未来へ。」

<https://www.mitsubishi-motors.co.jp/carlife/evphev/>

以上